

第2回 津駅東口周辺まちづくり懇話会

～津駅東口駅前広場に必要な機能の検討～

令和7年2月14日
津市

第1回懇話会(令和6年10月) 今年度の取組についての説明

懇話会委員へのアンケートの実施(12月23日～1月10日)

第2回懇話会(2月)

◆津駅東口駅前広場に必要な機能の検討

- ①賑わい ・滞留スペース(広場空間)、県道津停車場線の整備
 - ・賑わい創出に資するソフト面の取組や、民間活力創出の必要性
- ②防災 ・帰宅困難者等の一時滞在スペース(広場空間)
 - ・西口方面に容易に避難できる東西自由通路の整備
 - ・災害時の鉄道運行見合わせに伴うバス代替輸送に対応する施設整備
 - ・災害時のライフライン確保・情報提供の仕組み(太陽光発電、デジタルサイネージ等)
- ③回遊性 ・回遊性を高める東西自由通路・歩行者デッキによる賑わい創出 等

津駅周辺道路空間再編検討委員会へ意見を伝達

津駅周辺基盤整備の方向性(ビジョン)へ反映

津駅東口駅前広場に必要な機能の検討

賑わい 滞留空間・待ち合わせスペースについて

令和5年度社会実験アンケートにおいて、滞留空間・待ち合わせスペースが必要との意見が多数

滞留空間・待ち合わせスペースに必要とされる機能等を検討

津駅東口駅前広場への
広場やデッキの必要性を確認

防災 津駅東口の防災について

津駅の利用者（平均約2万人）が帰宅困難者、避難者となる可能性

安全な避難路、避難者及び
帰宅困難者の受入機能等を検討

津駅東口駅前広場への
広場やデッキの必要性を確認

(2) 歩行者の賑わいや滞留の強化

- ・駅前通りの歩行空間の拡張
- ・占用の緩和を通じた民間利用の促進



津駅周辺道路空間の整備方針より抜粋

(2) 防災：高潮・津波で浸水する予測

高潮時に2m、津波時に1mの浸水が想定
避難場所や帰宅困難者の受入れ拠点整備、
鉄道の代替としてのバス交通の活用等の検
討が必要。

東西連絡通路が浸
水の恐れ

浸水により地下道
が利用できなくな
る可能性がある。



津駅周辺道路空間の整備方針より抜粋

「津駅東口周辺の将来のまちづくりに向けたアンケート」を懇話会委員に依頼

実施期間：令和6年12月23日～令和7年1月10日

アンケート様式の一部

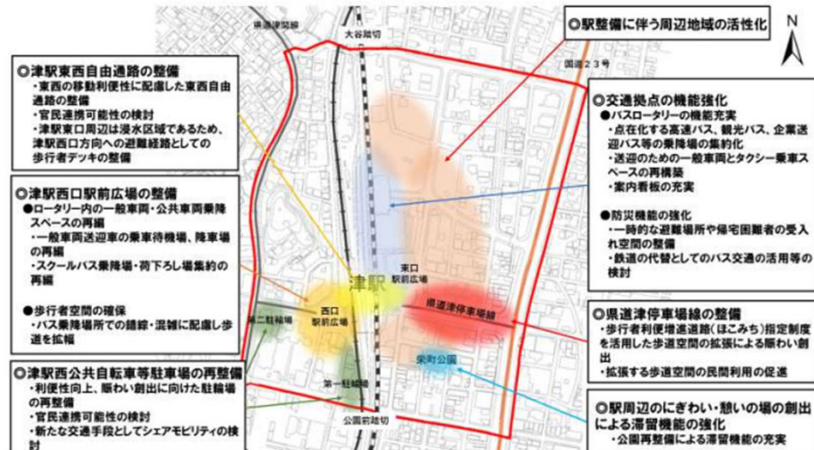
津駅東口周辺の将来のまちづくりに向けたアンケート

このアンケートは、次回開催の津駅東口周辺まちづくり懇話会において、津駅東口周辺の賑わい、防災等についての議論を深めるため、あらかじめ委員の皆様のお考えをお聞きするものです。

今回いただいた御意見は、第2回津駅東口周辺まちづくり懇話会での議論に活用するとともに、今後の津駅東口の再整備に向けて、当懇話会としての意見を取りまとめ、津駅周辺道路空間再編検討委員会へ伝達するとともに、本市が今年度進めている、津駅周辺基盤整備の方向性（ビジョン）策定に活用させていただきます。

また、以下のとおり津駅周辺基盤整備イメージの一例（素案）についての図を作成いたしましたので、アンケートの御参考としていただき、御意見等をいただければと思います。

津駅周辺基盤整備の一例（素案）



質問1 あなたにとって、現在の津駅東口周辺に足りていないものは何であると思いますか？（複数回答可）

- ①休憩、飲食、勉強などができる場所
- ②イベント、お祭りなどの活動
- ③洪水等の災害時に活用する避難路
- ④大規模災害時における避難場所や備蓄物資などの防災機能
- ⑤交通結節点としての公共交通の案内や乗換の利便性
- ⑥駅前ロータリーや周辺道路交通のスムーズな流れや安全性
- ⑦特に足りていないものはない
- ⑧その他（ ）

◎賑わい創出や回遊性の向上について

質問2 あなたにとって、今後、津駅東口周辺の賑わい創出、回遊性の向上のため効果的と考えるものはどのようなものですか？また、それを実現するために具体的に必要となる、ハード面の整備やソフト面の取組等があれば御記入ください。《自由記述》

（賑わいの創出の例）駅前広場の立体的整備による滞留空間やイベント等の活動スペース、東西の回遊性の向上のための東西自由通路、学生の勉強やワークスペースに使える公共施設、地域における賑わい創出の取組 など
（回遊性の向上の例）乗換案内、情報発信等のためのICTを利用したデジタルサイネージの設置、街灯の充実、シェアサイクルのなど近隣施設等への移動手段の充実、植栽や美化活動などの取組 など

質問 1.

現在の津駅東口周辺に足りていないものは？（複数回答可）

頂いた回答(選択)

- ①休憩、飲食、勉強などができる場所・・・・・・・・・・・・（18%）
- ②イベント、お祭りなどの活動・・・・・・・・・・・・（ 8%）
- ③浸水等の災害時に活用する避難路・・・・・・・・・・・・（13%）
- ④大規模災害時における避難場所や備蓄物資などの防災機能・・・・（13%）
- ⑤交通結節点としての公共交通の案内や乗換の利便性・・・・・・・・（11%）
- ⑥駅前ロータリーや周辺道路交通のスムーズな流れや安全性・・・・（26%）
- ⑦特に足りていないものはない・・・・・・・・・・・・（ 0%）
- ⑧その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（11%）

（内容：オフィス、商業・娯楽施設、行政窓口等の大型複合施設、居住人口、快適性、美観）

質問 2.

津駅東口周辺の賑わい創出、回遊性の向上のため効果的と考えるハード整備やソフト面の取組等は？〔賑わい創出の観点〕

頂いた主なご意見(自由記述)

- ・ 新型モビリティ、キッチンカーの駐車スペースや、ダンス、ミニライブ、ストリートアート発表の場など、イベントスペースの設置をしてほしい。
- ・ 日常での利用頻度が高い食料品や日用品が購入できるスーパーを誘致してほしい。
- ・ 津駅に行くことが目的となるような商業施設の誘致をしてはどうか。
- ・ マンションやオフィスの誘致により居住人口及び就業人口を増やす取組みをしてはどうか。
- ・ 賑わいの拠点となるような広場を整備し、そこにシンボルツリーやテーブル、イスなどを設置して滞留できるようにしてはどうか。
- ・ CHUMやアスト津に若者向けの飲食店の誘致や核となる店舗誘致、フードコート形式への変更を促してはどうか。
- ・ 飲食店などが気軽に出店できるようなシェアスペースの設置や駅周辺の飲食店とのタイアップなどうまく周りを巻き込んでいく必要がある。 など

他市の駅周辺の整備や活動の例

徳山駅(山口県周南市)



◎徳山駅舎と一体的に整備した駅前広場

- ・駅ビル改修に合わせ、周南市立図書館(分館)と蔦屋書店、カフェ等が併設され、1日を通して多くの集客あり
- ・休日は広場でのイベント、平日も日中・夜間ともに多くの人が滞留
- ・駅を中心にした周辺市街地の開発
- ・駅前広場、自由通路、道路、公園、駐車場等の周辺施設を官民連携事業で管理



他市の駅周辺の整備や活動の例

豊田市駅、新豊田駅(愛知県豊田市)

◎ペデストリアンデッキを活用したイベント等による賑わい、くつろぎ空間の創出

- ・ 道路(公共空間)を利用して、おもてなし空間を醸成
- ・ イベントで、市民や出店者に道路(公共空間)利用をPR
- ・ 道路(公共空間)の市民・民間主導による有効活用



ビアガーデン「〇七商店」



パブリックビューイング

出典: 中心市街地活性化協議会支援センターHP

質問 2.

津駅東口周辺の賑わい創出、回遊性の向上のため効果的と考えるハード整備やソフト面の取組等は？〔回遊性の向上の観点〕

頂いた主なご意見(自由記述)

- ・ 行き来しやすくなれば東口、西口の両方に賑わい創出できると考えるため、駅ビルへの出入りを可能とした東西自由通路を2階レベルで設置してほしい。
- ・ 段差の解消やエレベーターの増設などバリアフリー化の推進が必要。
- ・ バス乗降場、タクシー乗降場、一般車乗降場等の各スペースのバランスがとれておらず、一般車の乗り入れが悪いため、一般車送迎スペースの拡張と動線の確保をしてほしい。
- ・ 歩行者と車の動線を分けることで安全に回遊性を高められるので、駅から周辺の建物を繋ぐペデストリアンデッキを設置してはどうか。
- ・ 東西自由通路を計画するのであれば、単なる自由通路だけではなく、CHUMの再開発を絡めて計画を行ってはどうか。 など

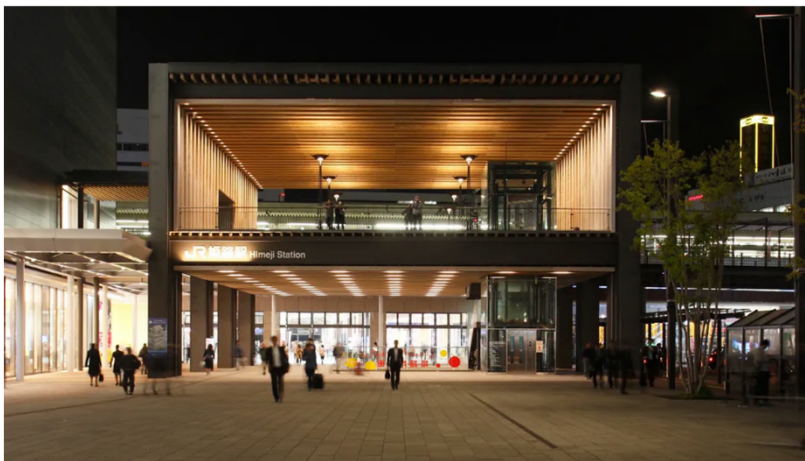
他市の駅周辺の整備や活動の例

姫路駅(岡山県姫路市)、岐阜駅(岐阜県岐阜市)

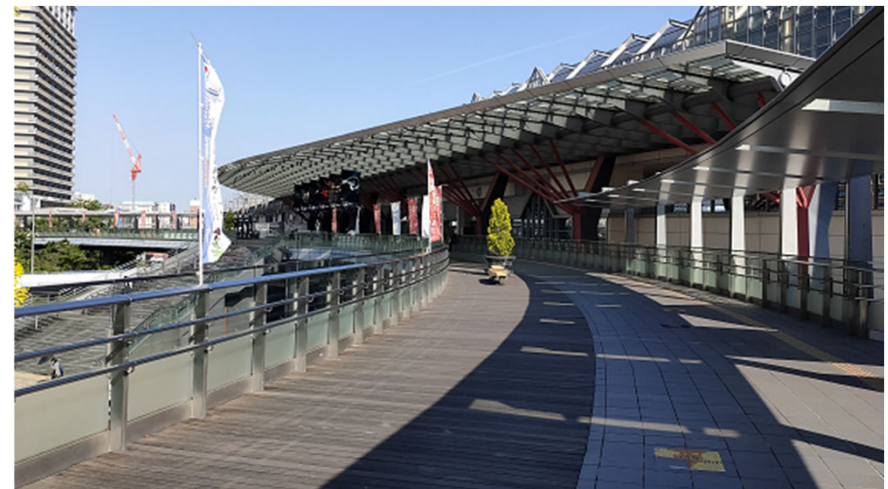
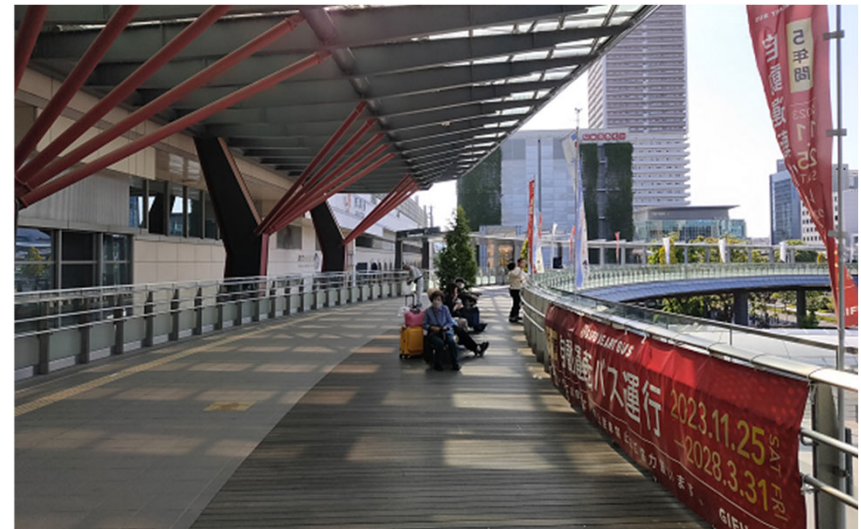
◎回遊性が高く、賑わいのある駅前周辺

- ・立体的な広場空間、周辺ビルと接続したペデストリアンデッキを整備し、回遊性の向上を図っている。

姫路駅



岐阜駅



質問 3.

津駅東口周辺の防災機能を効果的に向上させるハード整備やソフト面の取組等は？

頂いた主なご意見(自由記述)

- ・ バスターミナルの立体的整備・東西自由通路・ペDESTリアンデッキ等の浸水しない十分な高さの建物の整備による避難路及び一時避難場所の確保が必要である。
- ・ 避難誘導・代替輸送等の情報発信に活用するデジタルサイネージの整備をしてはどうか。
- ・ 津駅周辺の一時的帰宅困難者のための災害用物資の備蓄を周辺の施設や企業が協働して面単位で行っていくシステムが必要である。
- ・ 地域の防災訓練を行ってはどうか。
- ・ 災害時のインフラ等の整備として、かまどベンチや、マンホールトイレの整備、太陽光による街灯の整備、Wi-Fi環境の整備を行うべき。

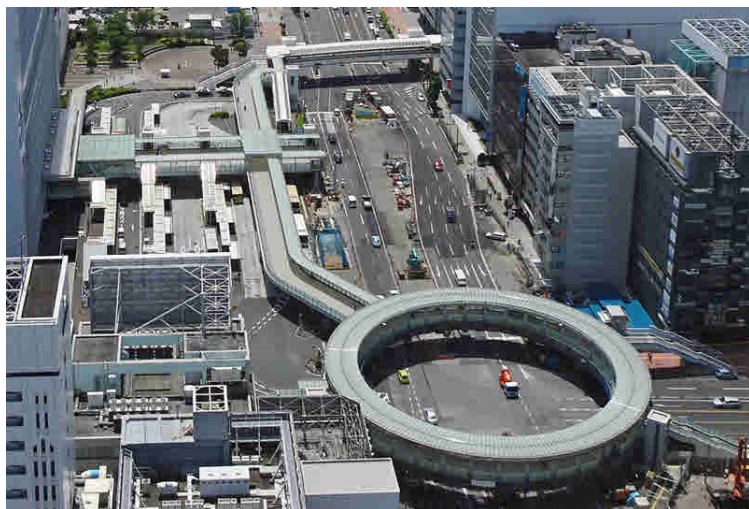
など

他市の駅周辺の整備や活動の例

新横浜駅(神奈川県横浜市)

◎防災機能を有したペDESTリアンデッキの整備

- ・大規模災害発生時における帰宅困難者等の誘導などが可能なペDESTリアンデッキが整備されている。
- ・駅コンコースに「情報提供ステーション」を設置し、そこに一時滞在施設の案内や鉄道会社の各社の運行情報ページにアクセスするための「二次元コード」を貼り出し、災害時に帰宅困難者がスマートフォンで読み取って情報収集をしたり、デジタルサイネージを活用し情報発信を行うなどの訓練を実施している。



横浜市記者発表資料

明日をむくむ市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

令和5年7月19日
都市整備部 都市再生課
総務局 安全対策課
総務局 地域防災課

横浜駅周辺地区における災害時の情報発信を強化します！

駅周辺施設の事業者と連携し、デジタルサイネージを活用した災害時の情報発信を開始

横浜駅は6社9路線が乗り入れる首都圏有数のターミナル駅であり、周辺には大規模な商業施設や業務施設が集積し、多くの来街者や就業者がにぎわっているエリアです。
東日本大震災の際には、横浜駅とその周辺において、多くの被害者の発生による混乱が生じており、今後も、大規模地震が発生した際には、来街者等による混乱が想定されます。
こうした被災時の混乱を予防すること、また、混乱状況を少しでも早く解消するには、来街者等へ適切な情報提供を行うことが重要です。
そのため、横浜駅周辺の事業者との連携により、駅周辺の大規模商業施設や業務ビル、駅等に設置されているデジタルサイネージを活用した防災一体となった災害時の情報提供を行うため、記者会見を開催します。

<情報発信に向けた意欲を結集した事業者（50音順）>

- 株式会社 東日本ビルディング
- 株式会社 東武バネンシステム
- 相模水産株式会社
- 東京建物株式会社
- 三井不動産株式会社
- 横浜シアイ・エス・ターミナル株式会社
- 横浜新都市センター株式会社
- 株式会社横浜ステーションビル
- 株式会社ルミネ

(計9社)

【デジタルサイネージを活用した情報発信のイメージ（地震発生時）】※多言語対応

緊急地震速報 (緊急時)	地震情報 (発生時)	地震情報 (発生時)	防災情報 (発生時)	防災情報 (発生時)
 大きな地震が、 くるかもしれません。 身を固めてください。 I'm warning earthquake may hit. Protect yourself.	 大きな地震です。 まわりをよく見て、 身を固めてください。 I'm warning earthquake may hit. Protect yourself.	 揺れが、しばらく 続きます。 まわりをよく見て、 身を固めてください。 I'm warning earthquake may hit. Protect yourself.	 避難所や避難場所の 一覧が掲載されています。 避難所や避難場所の 一覧が掲載されています。 避難所や避難場所の 一覧が掲載されています。	 避難所や避難場所の 一覧が掲載されています。 避難所や避難場所の 一覧が掲載されています。 避難所や避難場所の 一覧が掲載されています。

緊急地震速報提供 (フェーズ0) → 発生～1分後 (フェーズ1) → 1分後～数分 (フェーズ2)

出典：新横浜新聞,2024年3月8日,路線が増えた新横浜駅で「帰宅困難者」対応方法を確認、5年ぶりの大規模訓練
横浜市記者会見資料

他市の駅周辺の整備や活動の例

駒ヶ根駅(長野県駒ヶ根市)、武蔵小杉駅(神奈川県川崎市)、久居駅(津市)

◎防災設備の例

太陽光発電による照明装置(駒ヶ根駅)



マンホールトイレ(武蔵小杉駅)



かまどベンチ(久居駅)



【賑わい・回遊性を向上させるもの】

- ・ イベントの開催が可能となる賑わい空間、くつろぎ空間を兼ね備えた広場や、回遊性を促進するための、周辺の建物と立体的に接続するペDESTリアンデッキの整備について
- ・ 津駅に行くことが目的となるような、若者向けの飲食店や核となる店舗、スーパーマーケットなどの誘致、居住人口や就業人口を増やすための駅周辺ビルの再開発について
- ・ 東西の移動経路の役割だけではなく津駅東口及び西口に賑わいが創出できるような、駅ビルへの出入りを可能とした津駅東西自由通路の整備について
- ・ バスタの上部空間を民間事業（オフィス、ホテル、商業施設、マンションなど）として活用する可能性について

【駅周辺の防災力を向上させるもの】

- ・ 高潮や津波による浸水が想定されている駅東側において、浸水時に駅利用者等が安全・安心に駅東西を移動できる避難経路の整備について
- ・ 浸水時における一時避難や帰宅困難者の受入ができるスペースの確保について
- ・ 災害時に情報提供が可能なデジタルサイネージの整備や、帰宅困難者等のための物資の備蓄スペース、災害時に効果を発揮するかまどベンチやマンホールトイレ、太陽光による街灯の整備、通信環境の確保などの施設整備について

津駅周辺基盤整備の方向性（ビジョン） （案）

令和7年2月14日
津市

津駅周辺基盤整備の方向性（ビジョン）（案）

津駅周辺地区が抱える問題点の解消の視点

① 公共交通

【西口】

《問題点》

公共交通と一般車の錯綜 歩行者空間の不足による混雑



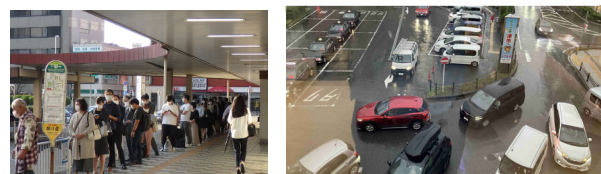
《問題点解消の視点》

- ・駅前広場内の交通整序化
- ・安全快適な歩行空間の確保と乗降スペースの再配置
- ・自転車利用の適正化と安全適切な駐輪スペースの確保
- ・新型モビリティ、先進モビリティに対応する整備
- ・待ち合わせ、休憩場所の確保

【東口】

《問題点》

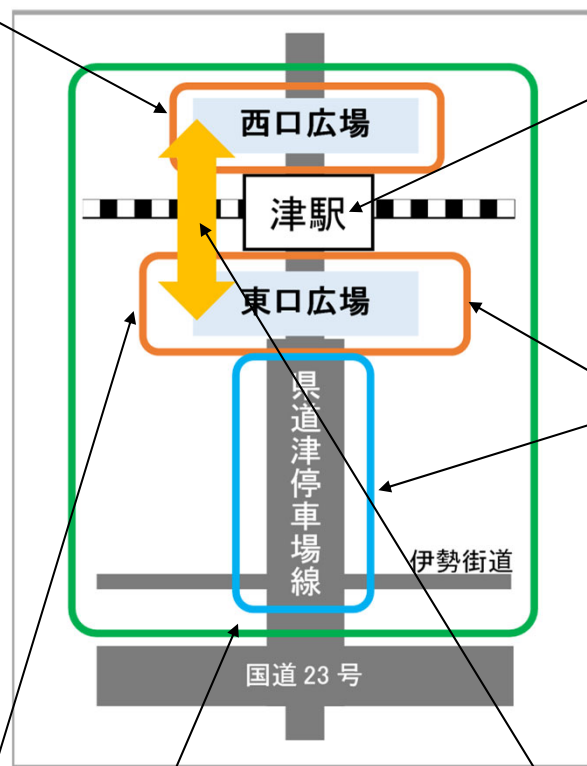
バス待列と歩行者の混雑 公共交通と一般車が錯綜



《問題点解消の視点》

- ・公共交通と一般車の動線分離
- ・安全快適な歩行空間の確保と乗降スペースの再配置
- ・多様な交通モードの集約化
- ・駅前広場内の交通整序化
- ・広域交通拠点機能強化のための案内誘導の充実
- ・新型・先進モビリティに対応する整備

津駅周辺地区



② 防災

《問題点》

高潮・津波発生時の地下道
浸水の可能性



図 地下道への入り口（東口）

《問題点解消の視点》

- ・立体かつ安全な移動経路確保のための通路の確保
- ・災害発生時に一時的に避難できる空間の確保
- ・災害発生時に備えた施設整備

③ にぎわい・滞留

《問題点》

にぎわい滞留空間が不足



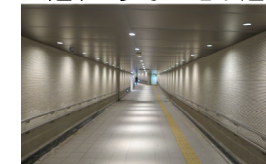
《問題点解消の視点》

- ・県都の玄関口として魅力ある駅周辺空間の創出
- ・憩いや交流の場となる、にぎわい滞留空間の創出
- ・公共投資に伴う周辺土地利用の促進

④ 東西連携

《問題点》

人通りが少ない地下道



歩道橋老朽化による通行止



《問題点解消の視点》

- ・効率的な往来や公共交通の乗換のための東西移動経路の確保
- ・東西地域の交流の起点となる東西移動経路の創出

⑤ 回遊性

《問題点》

東西で連携した案内になっていない



《問題点解消の視点》

- ・円滑に移動可能な案内機能の充実
- ・安心して楽しく歩きたくなる駅周辺環境の創出
- ・新型モビリティ等による移動支援

津駅周辺基盤整備の方向性（ビジョン）（案）

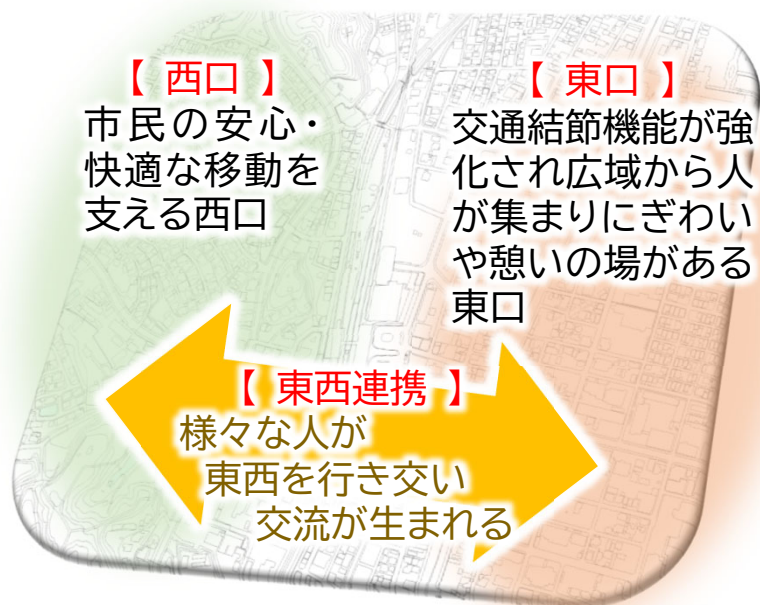
津駅周辺基盤整備の基本理念

「**みえ県都**の顔となり、**地域の活力**を引き出し、**災害にも強い**空間へ」

（４）津駅周辺基盤整備の整備コンセプト

- ・ **津駅東口**、**津駅西口**、**東西連携**それぞれの特徴や役割を踏まえ、津駅周辺基盤整備における整備コンセプトを以下のとおり設定。

【整備コンセプト】



【整備の推進にあたって考慮する内容】

- ✓ 公共交通、防災、にぎわい・滞留、東西連携、回遊性の視点
- ✓ 官民協働によるマネジメント
- ✓ ユニバーサルデザインの導入
- ✓ 交通やまちづくりと一体となったデジタル化の推進
- ✓ カーボンニュートラルの実現に向けた取組
- ✓ 新型モビリティ(シェアサイクル、電動キックボード等)の活用等による津新町駅・大門・丸之内周辺等の近隣地域との連携
- ✓ 県内各都市との連携

津駅周辺基盤整備の方向性（ビジョン）（案）

課題の解決に向けた目標

課題①

公共交通

- ・多様な交通モードに対する駅前広場内の集約化・交通整序化
- ・安全で快適に移動できる歩行空間の確保と乗降スペース再配置
- ・広域交通拠点としての機能強化に資する案内誘導の充実
- ・新型モビリティ、先進モビリティに対応する施設の確保

目標①

誰もが使いやすく快適に移動できる

駅周辺の**交通結節機能**の充実

課題②

防 災

- ・東西の安全な移動経路を確保するための新たな通路の確保
- ・駅利用者等が一時的に避難できる空間の確保や、災害発生時に備えた施設整備など、駅周辺の防災機能の確保

目標②

安全に利用でき、災害に強い空間をつくる

駅周辺の**防災機能**の確保

課題③

にぎわい ・ 滞 留

- ・多様なニーズに対応できる魅力ある駅空間の創出
- ・歩いて楽しく、憩いの場や新たな交流の場となるような、にぎわい滞留空間の創出

目標③

多様な人々が集い、新たな出会いや発見がある

駅周辺の**にぎわい・滞留空間**の創出

課題④

東西連携

- ・駅東西を直結し、今まで以上に駅利用者が安全・快適かつ効率的な往来・乗換が可能な東西の移動経路の確保
- ・東西地域の交流の起点となるような東西の移動経路の創出

目標④

東西の地域がつながり、交流が深まる

駅を中心とした**東西連携**の強化

課題⑤

回 遊 性

- ・駅利用者が目的地まで円滑に移動可能な案内機能の充実
- ・駅周辺を誰もが安心して楽しく歩きたくなる環境の創出
- ・新型モビリティ等によるラストワンマイルの移動支援

目標⑤

駅を拠点に、自然に人が集まる

駅とまちなかの**回遊性**の向上

アンケート及び本日の懇話会で頂いた御意見を取りまとめ



津駅周辺道路空間再編検討委員会(3/14)において報告



現在作成中のビジョン(令和7年度策定)へ意見内容を反映